

(別紙2)

## 1 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成22年3月15日

### 【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3970100271
法人名	社会福祉法人 長い坂の会
事業所名	グループホーム ほのぼのの家
所在地	〒780-8063 高知県高知市朝倉丙1633-17
自己評価作成日	平成21年10月26日
評価結果市町村受理日	平成22年3月25日

### 【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	高知県社会福祉協議会
所在地	〒780-8567 高知県高知市朝倉戊375-1 高知県立ふくし交流プラザ
訪問調査日	平成21年11月17日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	<a href="http://kaigo.pippikochi.or.jp/kaigosip/infomationPublic.do?JCD=3970100271&amp;SCD=320">http://kaigo.pippikochi.or.jp/kaigosip/infomationPublic.do?JCD=3970100271&amp;SCD=320</a>
-------------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

### 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

入居者の方が日頃作った作品や、ご家族、ご近所、ボランティアの皆様のお借りし「ほのぼのの家作品展」を行っており、作品の制作過程で入居者さんと職員の馴染みの関係を築くことにつながり、地域の方や他施設の方も見学に来ていただき交流することで、冗談を言い合い笑い合い「共に生きる」ことを大切にして、入居者さんが安全に安心して暮らせる環境づくりに取り組んでいます。また、入居者さんは、事業所の側の畑で日常的に季節の野菜を栽培し、水やりや収穫を楽しみ、収穫した野菜を職員と一緒に調理し、楽しい食卓を囲んだり、今年度からは、月に2回の土曜日を「外食・ドライブの日」として、希望の店やドライブに出かけるとともに、地域の行事にも積極的に参加することで、一人ひとりが地域の一員として交流しています。

### 【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

事業所は、静かな住宅団地の一角にあり、玄関先には季節の花を植え、ホールには利用者の書道作品や絵画のほか、家族や地域住民、高校生の作品なども一緒に展示し、見学に訪れる方との交流の場となっている。また、近くの高齢者福祉施設と交流したり、看護実習やボランティアの受け入れなど、地域と共に支え合いながら利用者の心を和ませ、利用者のこれまでの経験や生活歴を活かした日々の暮らしが持続されるケアの実践に取り組んでいる。また、母体法人の医療機関等と連携した体制が整備されており、利用者、家族との信頼関係が構築されている。今後も地域に開かれた事業所の運営を持続しながら、さらに発展していくことが期待される。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I 理念に基づく運営</b>					
1	1	<b>○理念の共有と実践</b> 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	業務の見直しにつき理念を口に出して唱える事は実施できなかったが、誰でもが目に付く場所に表示して、職員は常に心掛け日常業務に取り組んでいる。	法人の理念に沿った事業所独自の理念があり、具体的で分かりやすく、職員は、地域に開かれたホームづくりを目指して日々の実践に取り組んでいる。	
2	2	<b>○事業所と地域とのつきあい</b> 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地区の自治会に入会しており、地区の運動会や地域の夏祭り、催物にも積極的に参加している。尚、地区の一斉清掃にも年2回参加している。	地域の清掃活動やリサイクル活動に積極的に参加するとともに、近隣の高齢者福祉施設との交流も多く、地域の陶芸教室にも参加している。また、地域住民と季節の野菜等のお裾分けを相互に行うなど交流している。	
3		<b>○事業所の力を活かした地域貢献</b> 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	ホームの行事や防災訓練等に参加して頂き理解を得ている。	/	/
4	3	<b>○運営推進会議を活かした取組み</b> 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	定期的を開催しホーム内の状況を全て報告し、地域の方の意見を入れサービスに活かしている。	事業所から運営状況等について報告し、委員からの質問や意見も多く双方向的な会議となっている。また、地域に開かれたホームづくりや交流について、会議を活用している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	<b>○市町村との連携</b> 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	行政の方の意見や話を聞いたり、地区のグループホームとの交流を通じて関係を持っている。	地域包括支援センターの支援を受けて、2カ月毎に市内西部地区のグループホームが持ち回りで勉強会を開催し、交流を通じて相談、助言をもらう関係を築いている。	
6	5	<b>○身体拘束をしないケアの実践</b> 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	月に1度、身体拘束委員会による検討会を行い、禁止対象の具体的な行為を理解し、身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	毎月、身体拘束防止委員会で身体拘束の禁止や言葉による拘束について学習し、ケアにつなげている。居室には全て鍵をせず、玄関は夜間のみ施錠している。利用者の外出習慣等を把握して、さりげなく見守りをしている。	
7		<b>○虐待の防止の徹底</b> 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	研修会に積極的に参加し理解に努めている。なお、利用者が外泊から帰宅した時には、家族から外泊時の様子を聞くようにしている。		
8		<b>○権利擁護に関する制度の理解と活用</b> 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	職員は研修等に参加し理解に努めている。一部の入居者が成年後見制度を活用しており、支援している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		<b>○契約に関する説明と納得</b> 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時、入居時には必ず管理者、計画作成担当者が十分な説明を行い、理解と同意を得ている。		
10	6	<b>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</b> 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	入居者の意見、要望は職員間でその都度検討し、解決、実行に取り組み、家族にも報告している。また、玄関口には意見箱を設置している。	敬老会や新年会の行事の後で家族と懇談する機会を持つとともに、家族の面会時に声かけをして意見、要望を聞いている。利用者の意見等は日々の会話や接するなかで把握するようにしている。	
11	7	<b>○運営に関する職員意見の反映</b> 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	職員とは常日頃より、コミュニケーションが図れており、意見や提案が出た場合には、処遇部会や処遇検討会等で検討・協議を行い対応している。	月2回のスタッフ会で職員の意見等を聞くようにしており、職員同士で話し合ったり、代表者に伝え検討協議されて運営に反映させている。	
12		<b>○就業環境の整備</b> 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	業務の見直しを行っている。資格取得者には法人から手当てが出ている。契約更新時に法人から、年数・実績により給料の見直しがある。		
13		<b>○職員を育てる取組み</b> 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	法人全体で2カ月毎に全員が参加出来る様に内部研修を開催している。外部で行われる各種研修への参加も出来るだけ勧めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている</p>	2カ月毎に西部地域グループホーム連絡会に参加し、情報交換等を行い、事業所間で情報の共有を行うことにより、サービスの向上に活かしている。		
<b>II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	センター方式のアセスメントシートを活用し、入居者個々の把握、理解に努めている。特に、入居当初は入居者の心情を考慮し、不安等の解消を行い傾聴等に心がけ、その人らしさを見つけ安心して生活か送れるよう支援している。		
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	入居前の見学時には、家族の立場に立ち相談を伺い、また、要望等を受け止めることにより、入居時の不安を解消するよう努め、いつでも相談して頂けるような環境づくりに努めている。		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	ご本人やご家族の要望をもとに、何が必要であるかを見極め検討したうえで、出来る限りの対応を行いサービス提供に努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
18		<p>○本人と共に過ごし支え合う関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>日々のレクリエーションや会話等を通じて、入居者に寄り添い共有する時間を持つことにより、親密な関係を築いている。そういった日々の生活の中で、折りにふれ昔ながらの生活の智恵や工夫などを教えて頂く機会もある。</p>		
19		<p>○本人と共に支え合う家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている</p>	<p>行事や日々の出来事等を家族に電話や事業所だより等で報告を行うことにより、共に支援していく協力を頂いている。行事等の折には、家族の方にも参加を呼びかけ共に過ごして頂いている。</p>		
20	8	<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている</p>	<p>本人の希望に沿って、ふるさと訪問やお墓参り、今まで生活していた場所や懐かしい場所等への外出の機会を設け出かけている。</p>	<p>利用者の希望に沿って、馴染みのある場所等に出かける機会を持つとともに、家族の協力も得て、これまでの関係を継続できるよう支援している。</p>	
21		<p>○利用者同士の関係の支援</p> <p>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている</p>	<p>対人関係をうまく取れない方もおられるため、常に周囲の環境を把握し、孤立しないように配慮し、安心して生活出来る場の提供を心がけている。なお、リビングやホールとは別に一人で穏やかに過ごせる場所を設けている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		<p>○関係を断ち切らない取組み</p> <p>サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている</p>	<p>退所された方の相談は、いつでも受けられるような体制は出来ている。退所された方の様子は、機会あるごとにご家族や諸機関より情報を得、職員間で共有している。また、協力病院に入院している方のお見舞いには利用者と一緒にしている。</p>		
<p>Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</p>					
23	9	<p>○思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>一人ひとりの人格を尊重し、個々の希望・要望に沿った対応を心がけ、出来る限り実践し、サービス計画に反映させている。</p>	<p>日々の関わりの中で利用者一人ひとりの特技、持ち味を職員は良く把握しており、茶会の催しや陶芸作品作りなど、積極的に支援している。</p>	
24		<p>○これまでの暮らしの把握</p> <p>一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている</p>	<p>入所時に、本人、家族から生活歴や習慣、趣味等を聞き、アセスメントシートを活用し、情報を共有している。</p>		
25		<p>○暮らしの現状の把握</p> <p>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている</p>	<p>自立支援を図るため、入居者個々の出来ること、出来ないことを把握し、役割分担など能力が活かせる支援に努めている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している</p>	<p>入居者個々に担当者がおり、本人や家族の意見、要望を取り入れ、具体的なサービス計画の作成や見直しを行っている。</p>	<p>利用者、家族の意見、要望を聞き、担当職員の気づきを踏まえ、介護計画を作成している。概ね3カ月毎に見直しているが、状況等に変化があればその都度見直し、内容に応じた期間設定をしている。</p>	
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>サービス計画に基づき、個々に応じた日常生活のチェックを行い記録を残すことにより、情報の共有とサービス計画の見直しに活かしている。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>身体状況や変化、また、その時々生じるニーズに対応し、生活が継続できるように支援体制をとっている。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>多方面のボランティアや実習生を積極的に受け入れている。地域の行事（陶芸教室、ちぎり絵）に参加し豊かな生活ができるよう支援している。また、防災訓練についても近隣との連携を図り消防署の協力も得ている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
30	11	<p>○かかりつけ医の受診診断</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>入居時に、かかりつけ医を確認している。本人、家族の希望する医療機関があれば出来る限り対応している。希望のない場合は、協力病院にて診療を受けている。また、必要に応じ歯科医の往診も受けている。</p>	<p>利用者、家族の希望するかかりつけ医や医療機関、協力医療機関で受診できるよう支援している。通院は希望に応じて殆ど職員がしており、受診結果については家族にも報告している。</p>	
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>協力病院の看護師と、状況の変化に応じていつでも連絡・対応できる体制を作っている。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている</p>	<p>入院時には、病院へ病状伺いに行き、担当医や看護師から情報を得、相談をしている。家族とも連絡し、速やかに退院出来るように支援している。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>重度化した場合は協力医療機関や関係者と連携を図っている。</p>	<p>重度化や看取りの対応は、法人の方針として、母体の医療機関で支援することとしている。入居時に家族に説明し、その後の家族等の意向調査でも医療機関での対応を希望しており、事業所としては対応指針は作成していない。</p>	<p>現時点では家族等も医療機関での対応を希望されているが、今後、本人、家族の意向等の状況変化に応じて、繰り返し話し合い、本人、家族の安心と納得が得られるよう、取り組まれることが期待される。</p>

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
34		<b>○急変や事故発生時の備え</b> 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を行い、研修で実践力を身につけている。		
35	13	<b>○災害対策</b> 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	年2回の防災訓練の際に地域の方に参加して頂いている。地震対策についても研修会等で学習している。	年2回の避難訓練を実施し、地域住民の参加を呼びかけて、協力を得ている。避難路、消火器の点検は定期的の実施するとともに、非常食、水、備品を準備している。	
<b>IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	14	<b>○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保</b> 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	月に1回「言葉の拘束」についての検討会を行い、一人ひとりの言葉掛けについて、話し合っている。また、処遇検討会にて、個別の対応についても話し合っている。	職員は、毎月の処遇検討会で言葉かけや個人情報の保護について、繰り返し学習し、利用者を年長者として敬い、プライバシーを損ねない対応に留意している。	
37		<b>○利用者の希望の表出や自己決定の支援</b> 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	日常生活の中でその都度利用者に声を掛け、本人の希望を聞き、自己決定が出来るように常に心掛けて支援している。		
38		<b>○日々のその人らしい暮らし</b> 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	職員側の決まりや都合を優先するのではなく、外出や外食の支援にも、本人の希望に添った対応をしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	出張美容院を利用したり、行きつけの美容院に行く支援をしている。本人らしい服装やお化粧品をしたり、ビューティーボランティアが月1回来所し、お化粧品をして頂いている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	昼食については、職員も利用者と同じメニューの食事を食べている。準備や後片付けにも参加してもらっている。	利用者は、畑で育てた野菜も食材にしなが、調理に参加したり、後片付け、食器洗い等、得意なことを職員と一緒にしている。また、利用者と職員は同じものをテーブルで囲み、食事を楽しんでいる。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	毎月定期的に体重測定を行っている。体調や好みに応じて、個別の食事形態やメニューの対応をしている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	個人の生活習慣に合わせ、特に無理強いはしていないが、毎晩義歯の洗浄をしている。訪問歯科の口腔ケアの指導を受けている。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	個々に応じた排泄パターンを把握し、排泄の自立に向け、紙オムツや尿取りパットの見直しも定期的に行っている。月1回の処遇検討会にて自立ケアの勉強会を行っている。	利用者一人ひとりの排泄パターンを把握して、こまめに声掛けをしトイレでの排泄を支援している。職員は毎月自立ケアの学習をし、必要に応じて尿取りパットを使用しながら排泄の自立に向けた支援に取り組んでいる。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
44		<b>○便秘の予防と対応</b> 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	毎日の排便チェックをしている。予防として繊維の多い食材や、乳製品の摂取に心掛け水分量に気を付けるとともに、軽い体操や運動に取り組んでいる。また、協力病院と連携し、その方に合った下剤の見直しを行っている。		
45	17	<b>○入浴を楽しむことができる支援</b> 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	本人の希望により対応しており、2日の1回は入浴している。	入浴時間帯（15時～夕食までの間）に希望に沿って入浴支援をしており、2日～3日毎に全員入浴出来ている。	
46		<b>○安眠や休息の支援</b> 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、希望の就寝時間に合わせている。		
47		<b>○服薬支援</b> 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬の変更がある場合は、連絡帳や毎日のミーティングで共有している。また、一覧表を作り処遇検討会で確認したり、誤薬防止の為にチェック表を作成している。		
48		<b>○役割、楽しみごとの支援</b> 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	生け花や茶道など生活歴に応じた支援を行っている。月2回、土曜日を外出やドライブの日とし個々の希望に応じた支援を行っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している</p>	<p>散歩については日常的に行っている。外食やドライブにも本人の希望の場所に行けるように配慮している。春、秋の遠足には家族の参加を呼びかけている。</p>	<p>日常的に事業所周辺を散歩したり、菜園や近くの高齢者福祉施設の移動スーパーへ買い物に出かけている。また、小グループで職員と一緒に外食に出かけたり、利用者の希望に沿って、季節の花見や行楽、ドライブに出かけている。</p>	
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>金銭管理が出来る方については支援を行っている。</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている</p>	<p>本人希望の場合は電話の取次ぎは行っている。手紙については書かれる方はいないが受け取りについては取り次いでいる。</p>		
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>毎日の掃除を利用者の協力も得て一緒にしている。季節の花を飾り行事を取り入れてリビングに飾りつけを行っている。空調については常に温度、湿度を確認し快適な温度、特に加湿については心掛けている。また、手摺りや床については毎日の消毒を行っている。</p>	<p>全体的に清潔感があり、食堂と居間の仕切りがなく、ゆったりとした空間でお互いの表情や動作が確認でき家庭的な雰囲気となっている。また、玄関や廊下には利用者の書道作品や季節の花、鉢植え等で、生活感や季節感を採り入れ、和やかに暮らせる工夫をしている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>利用者それぞれの自分の好みの居場所があり思い思いに過ごしている。廊下には一人で穏やかに過ごせるような椅子を置いている。</p>		
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>馴染みの家具や調度品、寝具などを持って来てもらうことにより落ち着いて安心した生活を過ごしてもらっている。居室には、写真や花、自分で作った作品などを飾っている。</p>	<p>使い慣れた鏡台やアクセサリ、文庫本等が整然と整理されている居室や、使っていたものをさりげなく置いている居室など、利用者それぞれの生活歴や個性を活かした居心地の良い居室になっている。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>リビングの家具の配置を見直し、車椅子の方でも移動しやすい環境を整えている。ベッドからの起居動作が困難な方に対しては介助バーを取り付け安全に配慮している。</p>		

V アウトカム項目		ユニット名：	
項 目		該当するものに○印	取り組みの成果
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1. ほぼ全ての利用者の
			2. 利用者の2/3くらいの
			3. 利用者の1/3くらいの
			4. ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1. 毎日ある
			2. 数日に1回程度ある
			3. たまにある
			4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1. ほぼ全ての利用者が
			2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目：36, 37)	○	1. ほぼ全ての利用者が
			2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目：49)	○	1. ほぼ全ての利用者が
			2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1. ほぼ全ての利用者が
			2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1. ほぼ全ての利用者が
			2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない

項 目		該当するものに○印	取り組みの成果
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：2, 20)	○	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度ある 3. たまに 4. ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどいない